

8月5日～7日秋田学習支援inまんたらめ

秋田県内に避難してきている被災地の子供たちと大学生と一緒にまんたらめで過ごすことで、夏の思い出作りをしてもらうことを目的として、学習支援と自然教育の体験学習をすることで楽しく学んでもらおうと企画しました。

8月5日(1日目)



学習支援風景



ステンドグラスなどのガラス工芸づくり風



8月6日(2日目)

木の枝を用いた木工体験風



2日目の朝食風景



この日予定していた自然観察会は雨でしたので外部講師にお願いして、急遽室内で座学の自然学習に切り替えて行いました。鳥類の羽の形や色などを観察し、植物の葉っぱでお面や笹船の作り方など学びました。その後バトミントン、サッカー、バレーなどで楽しみましたが、天体観測が雨で出来なかったのが残念でした。



8月6日の夕食の前の手洗いとおいしい食事風景です。

自分の布団やシーツ替えは自分たちで。

8月7日(最終日)



最後の学習会で夏や休みの宿題も兼ねています。



最後にお別れ会と、思い出に今回の体験についてのメッセージのプレートを作りました。



全員で記念撮影です。大きなけがもなく無事終了しましたが、多くの反省もありました。この経験を活かして次につなげたいと考えています。

参加した子供さん方は父兄とも離れ、のびのびとした体験学習会で、いい思い出になったようです。来年も是非親御さんからも企画して欲しいとの声もありできる範囲内で企画してみたいと考えています。

26年度 被災地支援トピックスー9

NO9-3

8月9日～11日気仙沼大島学習支援ー1



8月8日 前日から支援学生とのミーティング風景。

気仙沼階上の民宿での様子です



気仙沼フェリー乗り場に集合で、ちょっぴり緊張気味です。フェリーに乗る子供達も意外と初めての子どもも多く意外でした。宿泊先の椿荘の前での記念撮影です。



7月に下見した小田の原海水浴場です。津波で砂浜も小さくなってしまいましたが、海水浴も初めて体験する子供さんもいましたが元気に砂浜で遊んでいました。漁港の岸壁では明日の人間カーリングの準備風景です。ただ明日の天気が台風の影響を受けそうですので、心配です。祈りましょう。



今晚の食事はどうか？？？

この食べっぷりが答えです。

8月9日～11日気仙沼大島学習支援ー2

8月10日の模様



8月10日 台風11号接近 東北、秋田は直撃コースも予想され、気仙沼には暴風警報が出ました。秋田からパドラーズ会員もカヌー体験会の為に駆けつけてくれました。波も穏やかに見えますができない状態でした。



人間カーリングin大島も前日設置したのも風で中止を決定し、残念無念の撤収です。北上さんご苦労様でした。



台風の影響で野外でのプログラムを変更しました。体を持って余し気味の子供達ですが、廊下でのボール遊びなどを学生と一緒に考えて時間を有効活用していました。



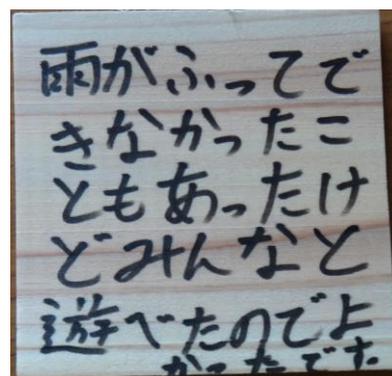
夏休みの宿題を学生のお兄さんに教えてもらいました。外に出られない分、子供もお兄さん方も気合を入れて頑張りました。将来学校の先生を目指しているので良い経験になったと思います。

8月9日～11日気仙沼大島学習支援ー3

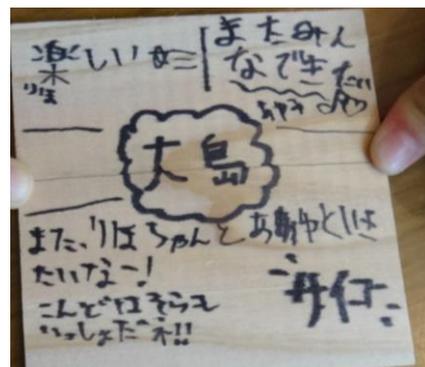
8月11日の模様



最終日 3日間一緒に新しいお友達もできて、学生のお兄さん、お姉さんとも楽しく学び、遊ぶことが出来て本当に良かったです。



最後にパドラーズの秋田杉で作った木のコースターにそれぞれ思いを書いてもらいました。



大島ワクワク探検ツアー報告書

作成者: 東海林岳太

開催日: 2014/8/9-10-11

場所: 宮城県気仙沼市大島椿荘

内容: 9日は海水浴と花火が主なイベントでした。天候も良く、子どもたちは元気に活動していました。ボランティアで参加していた大学生たちも、子どもたちとすぐに打ち解け、活動と一緒に楽しむことができました。10日は台風が接近したため、予定していたカヌー体験や人間カーリング、野外観測がすべて中止になりました。その代りに、宴会場でフルーツバスケットなどのレクリエーション、「アナと雪の女王」の映画鑑賞会を行いました。子どもたちはメインイベントが中止になったことに対してかなり落胆していましたが、代替りの活動でなんとか楽しむことができた様子でした。11日は前日に引き続き悪天候が続いたため、カキ養殖見学を中止し、予定より早く椿荘を出発しました。子どもたちは遊び疲れや相次ぐ予定中止によって疲労した表情を見せていましたが、大学生のボランティアたちとの交流を最後まで楽しんでくれました。

学生と子供たちが実験教室を通して交流し、夏休みの思い出作りとすることを目的として、また、実験教室という形をとることで、子供たちが“楽しく科学の実験に触れ、学習支援の効果をより大きなものにできればと、秋田県立大学復興支援団体up←Aの協力を得て企画いたしました。



鹿折中学校仮設住宅及び近隣にお住まいの子供達や仮設の方々など30名が集まり、支援学生と共に、空気砲で遊んだり、かんたん人浴剤作り、手作りカメラ制作やカメル焼きに挑戦したり、みんなで食事(秋田から用意したそうめん、農家から譲っていただいたスイカをみんなで食べる)や紙飛行機犬会などのプログラムを行い喜んでもらいました。



空気砲で遊ぶ子供達と手造りカメラ製作で夢中の様子です。



仮設住宅の集会場に空気砲、かんたん人浴剤作り、などそれぞれのコーナーを設けて行いました。



カメル焼きと製作した紙飛行機を飛ばしてどう作ればよく飛ぶのかなど織り方を変えたりして楽しんでもらいました。



今回、子供と学生がお互いとても楽しんで実験を行うことができたようです。子供たちが楽しく科学の実験に触れ、学習支援の効果をより大きなものにする。という目標を達成することができたと思う。また、お食事会では、お年寄りの方にも喜んでいただくことができてとても良かった。

残念なことでしたが、事前の連絡がうまく伝わっておらず、参加者人数が予定より少なくなってしまうことや、紙飛行機犬会の会場が狭くなってしまふなどの問題があったり、また、雨天時の対策の考慮も足りていなかったと思います。台風による荒天のため参加者人数が少なくなってしまうことも考えられるが、参加者へのお知らせがうまくいってればより多くの参加者を見込めたと考えられ、事前の連絡によって情報を共有しておくことの重要性を強く感じた。

